

授業科目	生涯発達心理学Ⅱ（幼児期～老年期）				
担当者	森田喜治・森定美也子・他				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

- ・人間関係論から見た人間の発達（森田）
- ・老年期のエイジングとパーソナリティ、認知症の問題、死への対応について解説する。老年期のエイジングとパーソナリティについて理解を深め、STが如何に対応すべきかを学んで頂きたい。（森定 他）

■ 到達目標

- ・生物学的発達の理解だけでなく、人間であるがゆえに重要となる人間関係の観点から発達を理解する。
- ・各発達段階の課題や病理について理解し、適切なアプローチについて考えることが出来る。

■ 授業計画

- 第1回 発達について、人間関係学、間主観性、精神分析からの理解（森田）
- 第2回 乳幼児期の人間関係の発達と機能の発達との関連（森田）
- 第3回 児童期、思春期の関係の発達と精神的成長との関連（森田）
- 第4回 児童期、思春期の問題形成とその心理療法（森田）
- 第5回 青年期、成人期の人間関係の発達（特に家族との関係）（森田）
- 第6回 青年期、成人期の人間関係上の問題とその心理療法（特に家族との関係）（森田）
- 第7回 成人期、中年期の人間関係の発達（特に夫婦の関と、子どもとの関係）（森田）
- 第8回 成人期、中年期の人間関係上の問題とその心理療法（老いの受け入れと、老いの意味）（森田）
- 第9回 老年期の位置づけとコミュニケーションの基本（森定）
- 第10回 老年期の課題とコミュニケーション方法 - 認知症の特徴と対応について-①（森定）
- 第11回 老年期の課題とコミュニケーション方法 - 認知症の特徴と対応について-②（森定）
- 第12回 老年期の方へコミュニケーション方法 - 老人保健施設での集団療法、回想法、コラージュ療法-③（森定）
- 第13回 老年期の方へコミュニケーション方法 - 老人保健施設での集団療法、回想法、コラージュ療法-④（森定）
- 第14回 死への対応1（講師非公表）
- 第15回 死への対応2（講師非公表）

■ 評価方法

レポート100%、(尚、レポートは心理学的観点からの自分史理解になりますので専門書の記述も必要です)

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

森田：特に何かを予習するということはないのですが、発達の観点がもしかすると他の先生方と異なるかもしれません。どちらかという、ワロンの考え方に近いかもしれません。つまり人間関係の中で形作られるものを主としてます。ですので、人間関係に関する哲学や、人間関係の在り方等に関係する文献を興味に合わせて読んでいただければと思います。

■ 教科書

--

■ 参考図書

■ 留意事項

毎年思うことですが、授業態度は、静かで、おとなしいのがいいというわけではない。教わること、学問に対する忠実さを求めるわけではない。むしろ、学問に対する貪欲さからの質問等があるとさらに良い。したがって、ディスカッションできるように心がけてもらいたい。

■ 講義受講にあたって